

寫眞週報

情報編輯局
四月十四日 第二六十七號



週寫眞
報

情報局編輯

四月十四日第二千六百七十七號

昭和二十一年四月十四日發行（第一版） 第三十七號



制服から作業衣へ
 諸君は日本の
 戦車を軍艦を飛行機を造る
 遅しい少年工になつた
 諸君が得る収入は
 國家が支拂ふお金です
 よくないことに使つては
 君達をゆがめ、國をむしばむ
 二重の罪惡です

育つ少年工諸君へ

「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい



東條總理
 滿洲國を訪問

さきに中華民國の首都南京を訪れて汪主席以下國民政府要人と大東亞戰爭完遂の盟約を交はした東條内閣總理大臣は、その後二週間を出でない去る三月三十一日東京を出發、佐藤陸軍軍務局長以下各秘書官帶同て友邦滿洲國の首都新京を訪問、滿洲國皇帝陛下の御機嫌を奉伺し、建國以來の同國の飛躍的發展を祝福、且つ大東亞戰爭以來わが國によせられてゐる全面的協力に謝意を表するとともに滿洲國首脳部と親しく懇談を遂げ、併せて現地諸機關の状況を視察並びに慰問を行つたが、滿洲國朝野をあけての歡迎裡に訪滿全行事を滞りなく終へ、四月四日福岡着、歸京した

撮影 滿洲國通信社
 餘暇をさいて張國務總理家庭を訪問、張總理と握手を交す東條内閣總理大臣、中央は張夫人

忠烈の武勳に燃した

第二特別攻撃隊 第十隊 勇士等の海軍合同葬

海軍中佐 秋枝三郎(二十七歳)
下關市豊浦村出身



神出必勝
海軍少尉 秋枝三郎



海軍特務少尉 竹本正己(三十歳)
廣島縣賀茂郡竹原町出身

忠勇
海軍少尉 竹本正己

海軍中佐 中馬兼四(二十六歳)
鹿児島縣薩摩郡上東郷村出身



忠孝
海軍少尉 中馬兼四



海軍特務少尉 大森猛(二十七歳)
兵庫県美方郡大庭村出身

轟沈
海軍少尉 大森猛

海軍中佐 松尾敏字(二十六歳)
熊本縣鹿本郡三玉村出身



誓期成功
海軍少尉 松尾敏字



海軍特務少尉 若瀬守(二十六歳)
和歌山縣海草郡貴志村出身

發揮百練技
海軍少尉 若瀬守

海軍少佐 仲 勝久(二十五歳)
愛知県碧海郡高瀬町出身



一發必中
海軍少尉 仲 勝久



海軍兵曹長 高田高三(二十六歳)
福井縣坂井郡坪江村出身

七生報國
海軍兵曹長 高田高三

海軍大尉 岩瀬勝輔(三十一歳)
香川県綾歌郡山田村出身



豪氣將吞五大洲
海軍少尉 岩瀬勝輔



海軍兵曹長 都竹正雄(二十六歳)
岐阜縣吉城郡國府村出身

勇武
海軍少尉 都竹正雄

海軍省公義(昭和十八年三月二十七日十時)昭和十七年五月三十一日特殊潜航艇を以てデイエゴ・スワレス灣及びビンドニー港に突入し偉功を奏したる第二特別攻撃隊に對し聯合艦隊司令長官より左の通り感状を授與せられ右の旨と聞に達せられたり

感 状 第二特別攻撃隊

昭和十七年五月三十一日敵英國艦隊をデイエゴ・スワレス灣及ビンドニー港に奇襲し多大の戦果を

擧げ帝國海軍軍人の忠烈を克く中外に宣揚し全軍の士氣を振作したるはその武勳披靡なりと認む
仍て茲に感状を授與す

昭和十七年十二月八日

聯合艦隊司令長官 山本 五十六

宣誓
一我等帝國海軍軍人として名譽よ
二我等〇〇〇〇東洋の初志貫徹
三我等帝國海軍軍人として名譽よ

社説を前に發した第二特別攻撃隊勇士の誓

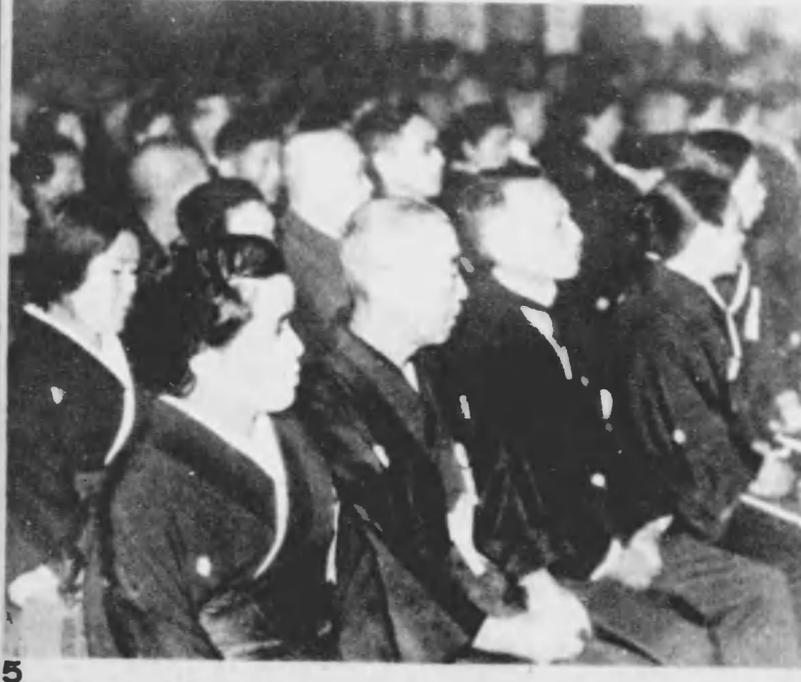
我等帝國海軍軍人として名譽よ
第二特別攻撃隊

昭和十七年五月三十一日、西インド洋上の英國艦隊根據地マダガスカル島デイエゴ・スワレス灣と赤道を越えた瀟湘ビンドニー港に日と同じうして奇襲を敢行し、在泊中の英國艦隊に徹底的な打撃を與へ、大いなる戦果を擧げた第二特別攻撃隊の武勳は長くも上聞に達し、十勇士は二階級進級の恩命に浴した

昭和十七年五月三十一日と年月こそ變れ、奇しくも同じ日の三月三十一日、純忠壯烈の十勇士はじめ、護國の華と散つた海の勇士〇〇柱の大東亞戦争戦歿者合同海軍葬は吳鎮守府において厳かに行はれた

吳鎮守府で行はれた合同海軍葬に高橋吳鎮守府司令長官は愛惜の念を一言一句にこめられた形跡を認められた

全列の第二特別攻撃隊十勇士の遺族



優等生の友達を 射殺した米機の 仇はきつと討つぞ

昨年十月わが軍律に照らして嚴重處分され
たわが本土空襲米機の搭乗員は、その取調べ
に際して「故意に學校、病院等の非軍事施設
を銃撃、又は焼夷したことを認めればかり
か、校庭に遊ぶ頭足なき國民學校の兒童をみ
つけ急降下して機銃掃射を浴びせて殺傷しな
からこれを當然の行動なり」と陳述したので
彼等米英人等の行つてきた鬼畜のやうな人
道を無視した惡虐非道な行爲は、數へ上げれ
ば數限りもない程である。だが、頭足なき兒
童を取へて射殺したこの一事こそは、まさに
わが同胞の上に加へられた彼等の殘忍性を最
も露骨に語るものとして、未だ生々しい記憶
をわれら同胞の脳裡に刻みつけられてゐるの
だ

うだ、断じて撃たう米英！
× × ×
いたいた犠牲者としてこの敵銃撃に散つ
た石出巳之助君の學んでゐた東京市〇〇國民
學校では、あの日以來片どきも消えることの



敵を決して空を脱んだ少年の腹の奥に、
火と燃える憤怒。——來てゐる米機

ない悲憤を全校一丸の戦意にこりかためて、
可憐な學童達は、石出君の仇を討たうと米機
撃滅の一心に燃え立ち、今年の卒業生達はこ
ぞつてわが翼の戦力増強に少年戦士としてお
役に立たうと、陸海軍をはじめ民間の航空機
工場に雄々しい腕を振つてゐる
又、在校生はこの犠牲を生きた教材として
防空訓練に、學課にとひたすら米英撃滅の決
意を示してゐる。亡き石出君の級友の作文に
その可憐な決意をみることにしよう
石出巳之助君の二周忌を偲へて
東京市〇〇國民學校高等科二年
鈴木 兼三郎

正しい日本の飛行機が飛んだ!! と突如四月十八日
墨原の敵機がこの神聖な空に現はれて石出君をた
はして逃定した。くやしい。どう考へてみても現
念だ。悪魔の奴にたはされた巳之助君。復讐だらう。
きつとこの仇は討つ、この復讐の情にもえ
た心をどうしてくれよう。月日はどん／＼過ぎて
早くも巳之助君の二周忌がきた。今日もお墓を掃
除して巳之助君の墓に飾つた「撃ちてしまむ」と
撃ちてしまむ」と
僕達が社會に出るのあとと備かだ。そしたらあ
こがれの航空兵に。あゝ待たれるのは空を飛ぶ日



「悲運犠牲者
士」の戦名も
いた／＼しく
眞新しい位
情が、無言の
うちに訴へて
ゐる。敵米英
の暴虐ぶりを
敵機別表を
みる目も眞剣
だ。これが憎
つくき……」
指導する上級
生の聲が、突
きさすやうに
ノースアメリ
カンを指して
ゐる



近づく四月十
八日、少年達
の頭に浮かぶ
のは憤しい級
友石出君の面
影であり、胸
にはきつと
と敵意が湧い
てくるのだ

少年労働記念日
四月十七日 十八日
藤林 影映

青少年工に潤いある生活を



⇒食糧の増産だ。農耕と農村出身の者が多いのでお手のもの。十二歳以上の少年工の思ひは戦軍のあの島。この島に戦軍と一緒に行き、戦軍の島にひたります。

⇒合シキツが来る。若生だ。俺のは餅が「甲」から「乙」まで。若生だ。俺のは餅が「甲」から「乙」まで。若生だ。俺のは餅が「甲」から「乙」まで。

⇒父母の恩は山よりも高し。収入が多いからといって無駄使ひしたり、不良と噂されるやうにたつては親に對して中傷が有ります。朝光寮の少年工たちは両親に「眞面目」を誓つて朝夕両親のお寫眞を禮拜します。



⇒「海兵衛」の長旗を先頭に、日本光學の少年産業戦士は隊伍整々と新宿合朝光寮を後に工場へ出陣します。



⇒部屋の大部はとも風邪らしい。部長の友野君は早稲寮宿舎の看護婦さんに来て貰ふ。大部はとも風邪らしい。部長の友野君は早稲寮宿舎の看護婦さんに来て貰ふ。大部はとも風邪らしい。部長の友野君は早稲寮宿舎の看護婦さんに来て貰ふ。



⇒今日は月給日、岐阜縣出身の中島君はどうしても必要なシキツを買ふお金を除いて全部貯蓄します。帰郷への便りにもだん／＼増える貯金額が記されてゐます。

⇒生業線に働く少年工の使命が今日ほど重大なときはない。先日、東京の日比谷で催された少年産業戦士行會で東條内閣總理大臣は、これら少年工たちに特別に願ひするといつて「國家の爲めに働かう」といふ、今日の諸君の願ひした氣持は練香花火の緊張ではいけない。どこまでもこの氣持をもつて押し通すやうに……と自ら演壇に立つて激励したほどであつた。

⇒東京の工場におけるこれら少年工の割合は、最近の調査によると一工場平均が四十三パーセントであるが、新設工場などになるとつと率は高く八十パーセントを占めてゐるが多い。これらの数字は全国的にみてもほぼ同様で、生産線に少年工が如何に大きい比重を占めてゐるかは一目瞭然である。

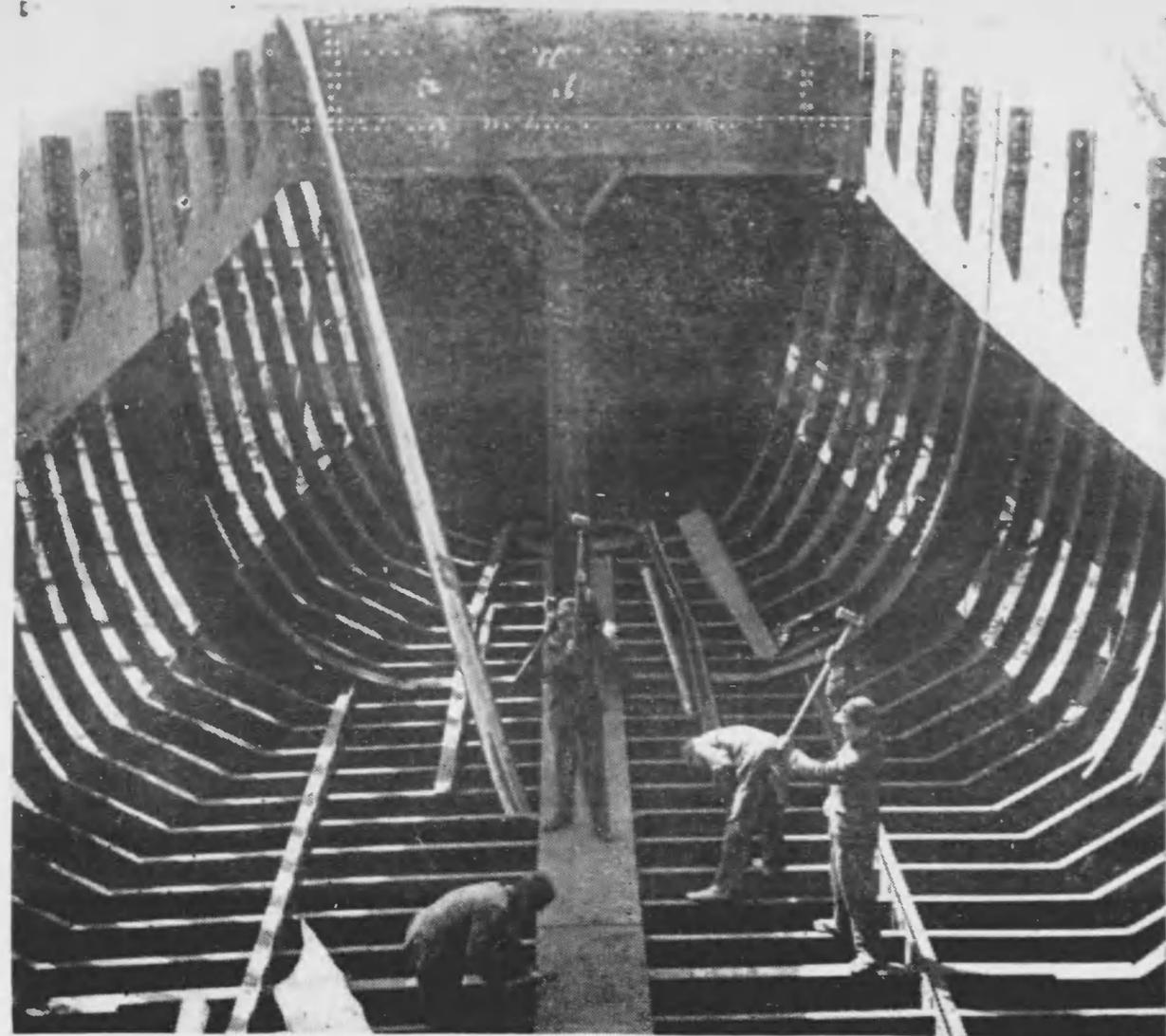
⇒しかし最近、少年工の不良化が大きな社會問題としてとり上げられてゐるが、さきの、東條總理が少年産業戦士に與へた言葉は、少年少女を受入れる工場側としてもまた十分反省する必要があらう。

⇒既にさきほどの次官會談でも、少年工の不良化防止が討議され、厚生施設、慰安施設の不十分なことが取上げられてゐる。

⇒しかし、工場側でも厚生施設、慰安施設の完全なものがあつて少年工の補導に萬全を期してゐるものも非常に多い日本光學工業株式會社〇〇工場は特殊な寄附金を設けて不良防止に積極的に當つてゐる。



過つた少年に戦ふ日本人の自覚と仕事を



↑ 船の骨組みにハンマーを振り上げる意気が正しき道を強く歩ませる。作業も終り、夕食、入浴もすませて、就寝までの楽しいひととき。寝たあとにふらふらと寝るか、は何時か寝るかは...



少年保護記念日
四月十七日十八日



少年保護記念日にあつた少年の姿

少年たちは、もはや第一の國民ではない。戦争は、少年たちにも日本國の最前線にたつた。その一翼をしっかりと擔ふことを志してゐる。これは過つて来た少年についてでも同じことだ。環境、性、戦争の影響などによつて、少年の個性が定まらず、しるすく、暗い行路を進んで来た少年たちにも、國として當局の悲憤は控へてゐる。單に社會の責任として悲憤したり、人生の再出発を望むだけではすまされない。此れ日本の尊厳を空しくして一日も早く國內の戦線に復帰し、ハンマーを振り、旋盤と取組む。あらゆる方面で生産増強の重要任務に就いても、もはや遅くないのだ。

過つてゐる國民の第一であるといふ自覚に、戦後、あくまでも大東亞戦争を戦ひ抜かうといふ決意によつて犯した罪を認め、過つた行路から覺醒させよう。ここに少年保護の第一の使命と意義がある。



三保造船所

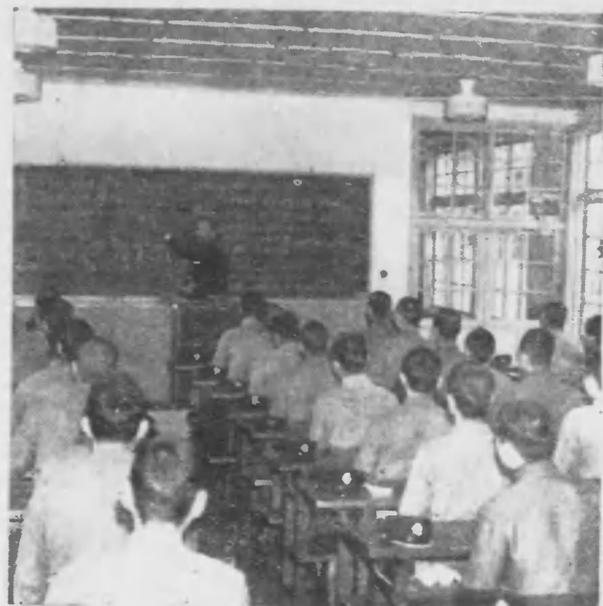
⇨ 寮から造船所への往復も、規則正しく清潔に、靴足で無念無想に一生懸命に歩くと、うららかな春日に少々の汗が汗ばんでくる。⇩

⇨ 寮から造船所への往復も、規則正しく清潔に、靴足で無念無想に一生懸命に歩くと、うららかな春日に少々の汗が汗ばんでくる。⇩

⇨ 寮から造船所への往復も、規則正しく清潔に、靴足で無念無想に一生懸命に歩くと、うららかな春日に少々の汗が汗ばんでくる。⇩

静岡縣清水市三保の造船所内にある三保松風寮は、その使命と意義から、新しい教化指導の方法を嘗試に移してゐる少年保護團體の一つである。こゝには矯正院の短期養成を経て少年たちが收容されてゐて、朝七時から夕五時まで一般工場に入り交つて造船所の作業についてゐる。きびしい監視の眼もなく、勿論設備もない。あるものはたゞハンマーとドリルの唸り、塵しい生産の調べだけである。この艱苦の中に磨きこんでゆく少年たちは、造船機、船装機とて或いは運搬などの置役に、懸命な流汗録成によつて一枚一枚づつ過つて身につけた悪い殻を破つてゆく。

昨年十二月第一回生を入寮させ、未だ時日を経るまいので確定した成果を云々することは出来ないが、これまで事故もなく、創立當時の不安は一掃されてゐる。かへつて退寮生の中から引續き造船所に居残つてゐるものの中には、一般工場よりも共々らしい作業をあげてゐるものもある。



年青道鐵るす成鍊

京東

↑ 晴れの食間の日、武装の錬成
隊員は青少年學生に賜はりた
る勅諭を讀んで讀みあげます
職業務では各職場々々に應じ
てこれら、専門の技術を習得
します
この腕、この腕、この力、國
際時局に鍛へる若き體力こそ
の大きな誇りと、いませう

↑ 幾何の時間、整然とした秩
序の中にも不測の訓練が
かまはれます



↑ 疲軍糧糶も、それかゝる俵を肩に
おさへて力走、力走……

この錬成所は地方の青年學校に當るもので、鐵道業務の性質上、青年學校に通學できないこれ
ら青少年を毎月短期間づゝ錬成所に入所させて、精神的訓練、軍事的基礎訓練をほどこし、一方、各
職場の特性に應じて業務講習會を開催、輸送報國の第一線部隊としての技術を錬成してゐるとい
ふ師團長務部長兼少將の奮闘を受けました



↑ 左、防毒面被服(左)の食間を受する準備
↑ 右、防毒面被服(左)の食間を受する準備



銀座の街路燈も燃る

第一次金屬非常回收始まる

東京市民になじみ深かつた銀座の街路燈が決戦の春、第一次金屬非常回收のさきがけとして赤煉も凄々しく燃る。米英戦艦の軍艦に戦車に生れ代る
 神武天皇祭の四月三日、その撤去式が銀座四丁目交又點の道路上で銀座通聯合會の人々によつて行はれた
 撤去は紅白の布に彩られた一番燈が参列者一同の手によつて引き降されたが、これに引續いて銀座通り百四十三本、三原橋通り十四本が次ぎ々と回收される。「銀座の灯」として詩や歌にまでうたはれたこの街路燈は昭和五年建てられたもので、一本百七十貫の鑄鐵製である



比島人に働く喜び

島半ンアタバ 年一領占全完

凡島バターン半島が完全になが手に占領されたのは一年前の四月十一日であつた。罪のない比島住民を餓死線上に彷徨させ、比島人兵を弾除けに酷使して残忍な焦土戦術を敢へてしたその軍兵を皇軍のおかげで一人残らず駆逐できたバターン半島は、それ以来、一章焦土の中から立ち上らんと努力をつづけてきた。その甲斐あつてわが軍政下に建設の途を進む比島人昨今の表情の何んと明らかなこと
 サマールの小學校校庭でも比島人が日本の兵隊さんと一緒に野球をやる。カバナツアン農場の排水工事にシヤベルを振る農夫も



比島工場に元氣に働く比島人女子たち





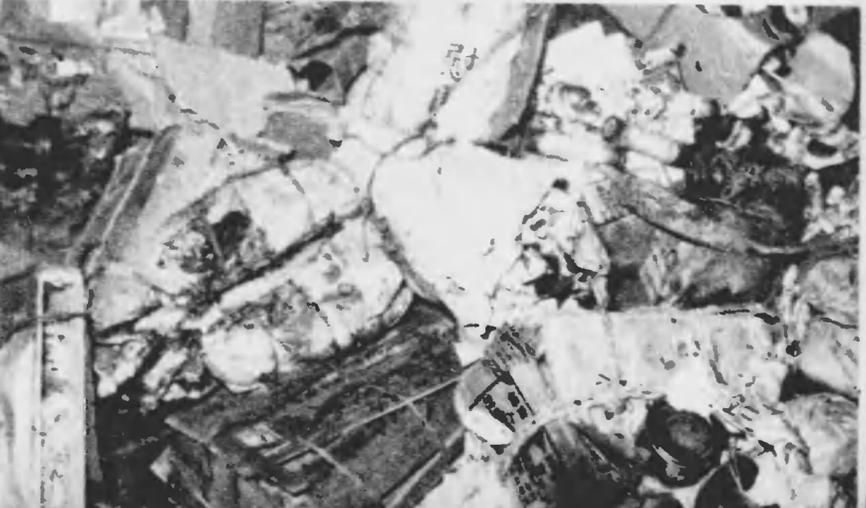
明くる日は戦う

寫眞週報

郵便屋さんといふ歩み



丁度差立の時間だつた。區分が済んだ郵便や小包は行囊に納められて個数を調べた上發送されるのだ。この大きな郵便局の裏口には赤い郵便自動車隊が隊伍整然と待機してゐた。そこには國家が法をもつてその業務の遂行を保障する尊厳といふものが感じられた。普通の車馬なら通行することのできない地點をも突破して搬送してゆく郵便自動車。『寫眞週報』は通信事業といふもの、重要性をこゝで改めて考へてみた



どんな難れ小島へも、またどんな山奥の一軒屋へも郵便物は配達される。雨の日も風の日も郵便物をきつちり詰めた重い靴を履いて一日延六、七里、『郵便郵便』と配つてゆく郵便屋さんは足が資本だ

街頭の赤いポストがどんなに親しみ易いものであるか、また郵便受函に郵便物の影をみないときどんなに物足らなさを感ずるか、それは誰にも共通した氣持であるにちがひありません。或る統計によれば、全國を平均して一世帯が郵便局と交渉をもつ回数、いひかへると郵便局のお世話になる回数は年に千回を越えてゐます。そこでけふは一つ、私たちの生活と切つても切れないこの郵便局を裏から表から覗いてみることにしました。折がよければ郵便屋さんのあの大きな靴に入れてもらつて、市内をあらちちら歩き廻つて見ようといふ寸法です



小包の作業場で驚いたのは、破損小包の實に多いことだ。包装が大破して内實が散亂してゐる菓子や果物や生魚、味噌漬の汁でべつとり汚れた洋服や雑巾など、修理場はむしろ慘憺たる有様だつた。修理員の勞苦も生やさしいことではなからう。紙も悪くなつてゐる。紐も弱くなつてゐる。だが、それだからこそ、なほさらに包装を完全にして、抜いた取つたのいやな話は戦時下から一掃したいものである

『寫眞週報』は引續いて郵便局の玄關ともいへる窓口を内側から覗いてみた。だが、流行に戦時下であつた。こゝにはもう金網越しの曲を斜く猛獸のやうな公衆もなく、また笑顔を見せては損をするといふやうな局員もをらず、和やかな空氣のなかに彈丸切手が飛ぶやうに賣れ、貯蓄の効果が擴大されてゐた。最後に立つた電信の窓口では、忙しいなかにも一人の老婆に示す局員の親切な態度に明るい窓口の表情を満喫した

折よく郵便物の取集めに出かける自動三輪車の背中に乗せてもらつた。集配手君の話によると、繁華な市街地ではかうして取集めに一日最高十二回夫々の受持區域を廻るのださうだ。少し遅くなると一貫何百文といふ高い料金を拂ひ、長い日數を費して飛脚を頼んだ昔に比べて何んといふ變り方だらう。さういへば、この四月二十一日は明治四年、日本に初めて現在の新式郵便制度が實施された通信記念日だつた

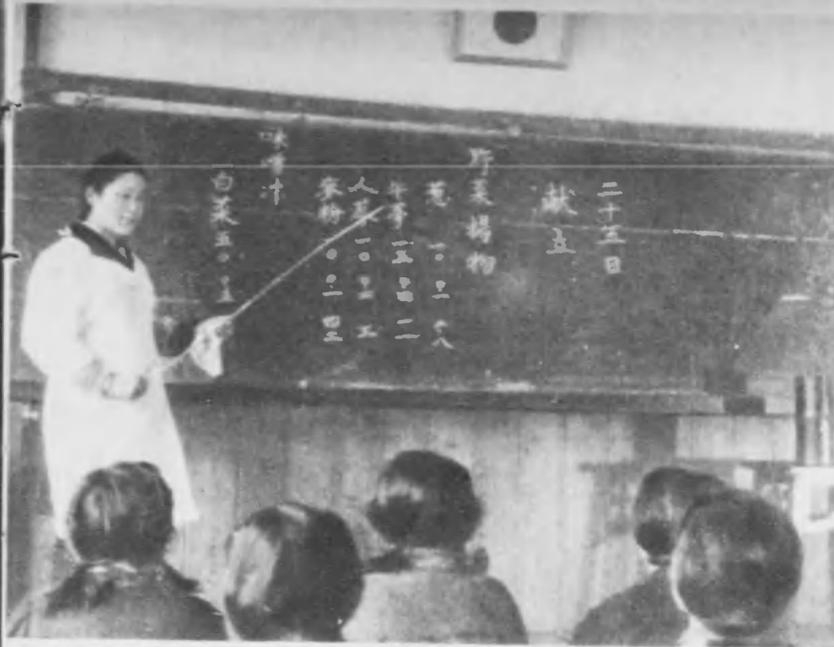


昨夜郵便局で一夜を明かした『寫眞週報』は、郵便屋さんの靴に入つて春風の街へ出た。路をはさんでうちつづく向ふ三軒兩隣を打きつ戻りつ一軒々々郵便物を配つてゆく郵便屋さんの黒い合羽に明るい雨の雫が光つては流れ落ちた。ほんたうに大變なお青折りだ。靴の中からは思はず聲をかけようとしたとき、『寫眞週報』に代つて感謝の言葉をかけた。それは一軒の家の郵便箱だつた。その受函に貼られた『ご苦勞さま』の文字を見たとき、『寫眞週報』はとても明るいものを感じた。心なしか郵便屋さんの足よりも急に軽くなつたやうに感じられた



育ち盛りの子供たちにとつて何より楽しく、待ち 受ける 教室 富山市濱黒崎国民学校

育ち盛りの子供たちにとつて何より楽しく、待ち受ける教室。戦時下少国民の健康は明日の日本を左右する大きな動力ですから、国民学校でも子供たちの健康増進にはいろいろの施設を工夫して、骨を折つてゐるわけです。富山市の濱黒崎国民学校では全校児童に学校給食をしてゐますが、この地方は半農半漁です。



ら、材料は子供たちの持寄りや学校で買費購入、調理は女子青年團のお姉さん方が交代で受持つてゐます。おかげで子供たちの健康状態も目に見えて良好。お姉さん方も家庭料理のこつを覚えて一石二鳥の賞賛をあげてゐます。

富山市 藤江女三郎

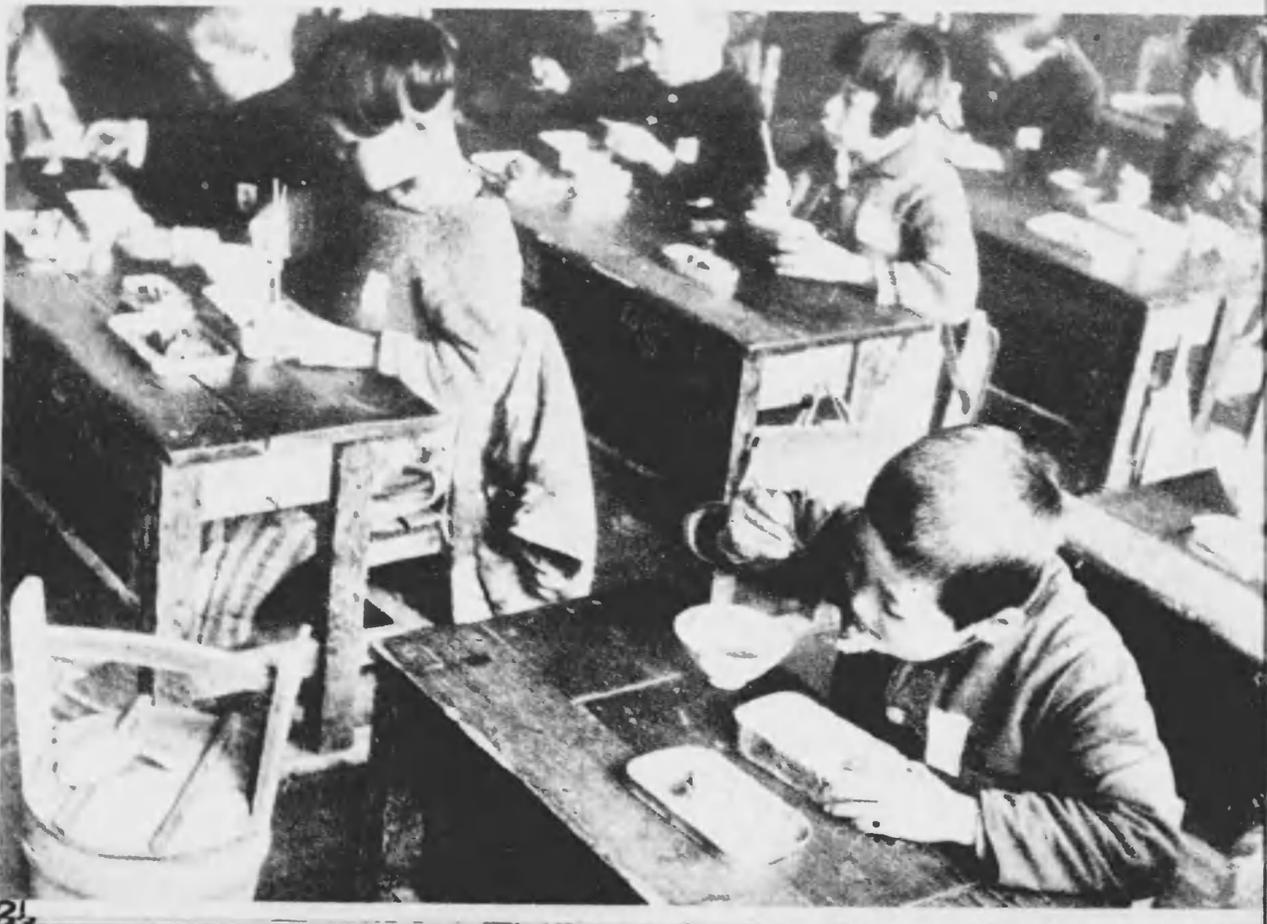
調理に先だつて女子青年のお姉さんたちは先生から指導をうけます。

今日のご馳走は野菜の天ぷら。どうしてなかなか見事な板前ぶりです。

富番の子供たちが材料を持ちこむと、お姉さんばかりにかけて買費で買入れます。



今日もおいしくいただきました。ほしげらないで、よくかんで、ゆつくりいただきます。





滿洲

南滿洲鐵道株式會社

寫真週報 昭和十八年四月十四日 第三千六百六十七號

寫真週報 (兼轉載)

昭和十八年四月十四日 印刷發行

情報局

東京市神田區

本町一ノ一

印刷局

内閣印刷局

東京市神田區大塚町

所 達 申	價 定
全國各地官報 販賣所	▲特大的場合は 其の都度御申込 金より差額を申 受けます
書店・轉賣店	▲預約配送御希望 の方は一部十錢 (送料一錢)の割 合を以て前金を 添へ御申込み下 さい
新聞販賣店	▲外國郵送に依 る場合は送料 共一部十九錢
寫真材料店	一部十錢 (送料一錢)

前編版間に本誌を
お読みになつたら本
誌を前編版間に送り
ませう。送料は内地
と同様に送料あるひ
は別封にして第二種
と明記すれば一部
一錢です

内閣印刷局印刷發行

(列強報道) A4版規定はB3大の書本